



選手と監督は 信頼関係で動いている

東北楽天ゴールデンイーグルス
名誉監督

野村克也

対談 &

町田市長

石阪丈一

4月24日、講演会出演のために町田市民ホールを訪れた野村克也氏。プレイヤーとして27年間活躍し、監督としても24年。その間打ち立てた数々の記録を含め、野球史上に計り知れない功績を残した、日本を代表する「野球人」の一人だ。また「ボヤキ」と称される独特の語りで、球場の外でも人気者。満席に膨れ上がったファンが野村氏の登場を今か今かと待つ、その開演前、石阪丈一市長が楽屋を訪れ二人の対談が実現した。

石阪 本日は町田へようこそ。実は私、どうしても一度野村監督にお会いしたかったです。と、いうのは、私の誕生日は1947年の6月29日。私の方がひとまわり下ですが、誕生日も干支も全く同じ。この日生まれた著名人、と

いうのを見ると、いつも野村監督の名前があって、特別な思いが

あったものですから。

野村 えー！ そうですか。じゃ、いのしし？ それは素晴らしい（思わず握手）。ちなみに何時に生まれました？

石阪 確か午前4時だったと思いますけど……。

野村 私は3時、時間も近いじゃないですか。でもそれで、何か



いい事があるわけではないですけどね。

石阪 いえいえ、私は野村監督を尊敬していますから、とても光栄です。と、いうのも、私は監督ではないのですが、町田市では今、サッカーの「FC町田ゼルビア」がJリーグ昇格出来るかどうかのところまで来ていたり、フットサルの「ASVベスカドーラ町田」

が昨年Fリーグで準優勝したり活躍をされていて、地域を挙げてこれらプロスポーツチームを応援して行きたいと思っています。野村監督も去年まで、地域密着型のチームである楽天を指揮されていましたね。市民の方々の応援はどうでしたか？

野村 仙台の楽天ファンは、そりゃ凄かったですよ。とにかく「あつたかい」、「熱心」、そして「我慢強い」。プロ野球は3月からペナントレースが開幕するんですけどね、東北地方にある仙台はまだ寒いんですよ。ドームもないし。観客は、身体の芯まで冷え切った中応援しているわけです。なのに、試合が終わるまで誰一人として帰ろうとしないんです。東北気質ということもあるんでしょうけど、やっぱり「おらがチーム」なんです。私も選手も、非常に有難いと思っていました。市民が丸となって支えることで、チームは強くなるんですよ。

石阪 実際、楽天は強くなりましたからね。野村監督の力が大きかったとはいえ、市民の応援もやはり、力になっていたんですね。町田市政も、多くの市民の力に支えられています。

野村 まあしかし、組織というの

はリーダーの力量以上に伸びることはありません。町田市の発展も、市長の成長とともにある、ということですね。

石阪 おっしゃるとおりです。私もまだまだ、市のために成長していかなければならないということ、いつも肝に銘じています。野球の監督は球団が、市長は市民が選ぶという違いはあるものの、組織のリーダーであることは共通していると思います。ちなみに野村監督は、監督業をやるにあたって、どんな信念をお持ちでしたか？

野村 そうですね。監督も「なりたい」で、なれるものではないし。たいした功績じゃないかも知れませんが、その意味では、監督を24年間勤められたことが評価の証だと思っています。まず私の場合は、監督は組織のリーダーであると同時にチーム広報の役割もあると考えていました。マスコミへの対応は自分の責任であり、チームがどう思われるかは自分にかかっていると。また選手と監督は信頼関係で動いているわけですから、それがないと機能しない。「信頼」が重要だということも共通しているでしょうね。

石阪 そうですね。私も市長は、



市の「顔」なんだと思います。市民の皆様とともに「市民が希望の持てるまち」を目指し、「町田の未来」を創っていきます。今日はいろいろなお話が伺えて光栄です。有難うございました。

Profile

野村克也

本塁打王9回、打点王7回、首位打者1回、MVP5回、また戦後初の三冠王に輝くなど、日本を代表する名プレイヤーの一人。さらに監督としても3,000試合以上出場し、通算1,500勝を達成。1989年、野球殿堂入り。